

ありがとう、

言うよ。

「ただいま！」
学校から帰って
いつも言ってくれたね。

「おかえり」って。

今はねえ
誰も言ってくれないんだよ。

いっぱい遊んで帰ってきて
暗くなるまで部活の練習して

ヘトヘトな時
楽しかった時
いっぱい泣いた時
寂しい時

帰ればいつも
あったかいご飯
作ってくれたね。

今は
その味を一生懸命思い出しながら
自分で作ってるよ。

洗濯って

勝手にやってくれないでしょ？

毎日きれいに洗って

たたんで置いてある服を

当たり前に着ていたけど

今は自分がしないと

着る服も無くなっちゃうのね。

掃除も

放っておいたら大変だ。

毎日掃除機かけてくれたから

いつもきれいだったんだね。

普通の当たり前も

自分でやらなきゃわからない。

お手伝い。

嫌いだった。

ただおちゃわん洗って
お米とぐだけなのにね。

一人だったら
ご飯支度も後片付けも
全部しなきゃいけないのにね。

ブーブー文句言いながらやってたけど
そのおかげで
私、今一人暮らしできてる。

風邪ひいた

熱出した

いつもよりもっと優しい。

体はキツイのに

心は嬉しい。

よく効くけど

注射は嫌い！

冷たい氷枕と

優しさが一番の特効薬だった。

寂しい日もあったよ。

子どもながら

そりゃあ寂しい日もいっぱいね。

強がりしてさ

それでいて寂しいくせに

恥ずかしいから言わないよ。

でも

ちゃんと気づいてくれる。

「なした？」ってさ。

別に怒ったり諭したりお説教なんてしないでさ

いつも話を聞いてくれたね。

「んだのか、んだのか」って。

いつも一緒にいたから
誰よりも一緒にいたから
喧嘩もいっぱいした。

私、可愛くなかったから
ひとつひとつの愛情とか優しさとか
全部全部反抗して
顔合わせれば喧嘩してたね。

素直じゃない私に
それでも毎日毎日話しかけて
喧嘩してくれた。

一人じゃ喧嘩もできないよ。

でも
喧嘩のあとの
後悔とか
寂しさとか

あとね
とっても大事なこと

「ごめんね」を
学びました。

ねえおばあ。

思い出は
思い出すとき思い出になるね。

だから
おばあが忘れてもいいんだよ。

ちゃんと私が思い出せるから。

おばあが忘れてら
何度でも何回何十回でも
話すよ。

だって
全部おばあがくれた思い出だから。

お返ししたいの。
いっぱいいっぱいお返ししたいの。

ねえおばあ。

私のおばあは、おばあしかいないのね。

おばあにしかできないことが

たくさんあったんだよ。

おばあだからできたことも。

だから

言うよ。

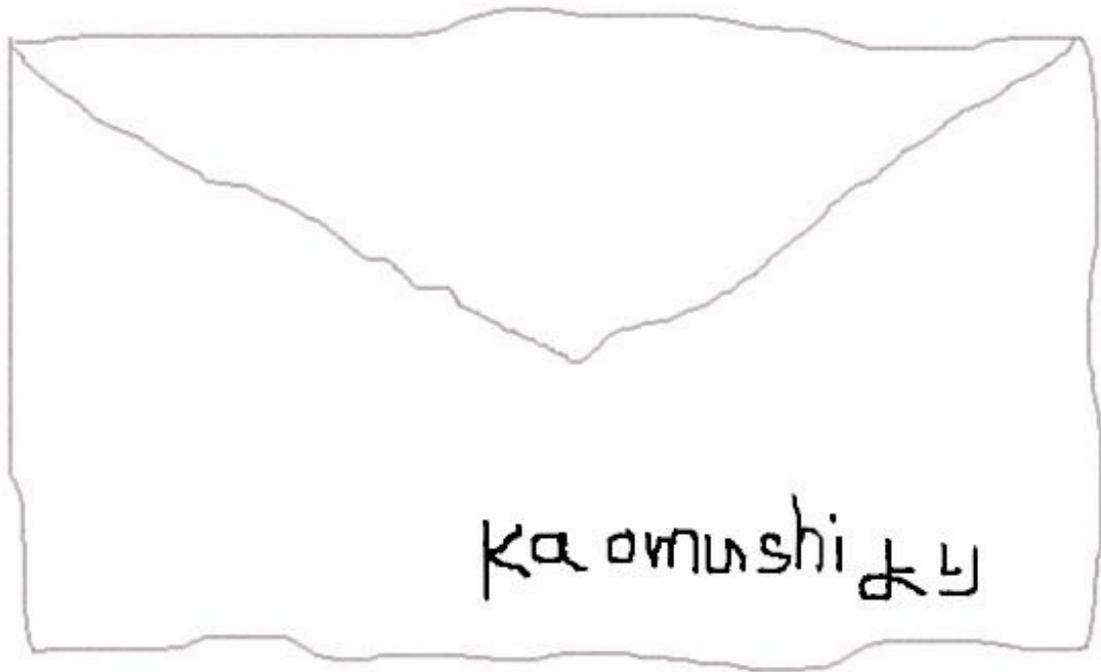
思ってるだけじゃ伝わらないこともあるからさ。

ちゃんと言葉にしなきゃ伝わらないこともあるからさ。

私が思うことはひとつだけ。

ありがとう。

ありがとうって、言うよ。



Ka omushi 24